

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	313.3	点字広報・声の広報等発行事業	会計	01	一般会計
基本施策	5	障がいのある人等の自立した生活を支える	款	03	民生費
担当部課名		健康福祉部高齢障害課	項	01	社会福祉費
作成者氏名	榊 光裕	連絡先	目	04	障害福祉費
		22-9657	細目	102	障害者保護費
			細々目	03	身体障害者保護事業(県単)

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	重度の視覚障がいのある人	成果(どうなるのか)	市広報の点字版及び録音版を発行することで、市の必要な情報を提供するとともに福祉の増進を図る
	本年度事業内容	「広報いが市」の点字版及び録音版の発行し、希望者(市内居住者であって送付を希望する視覚障害者)に対して送付。本事業は伊賀市社会事業協会(上野点字図書館)に委託。		
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)	事業費(B)	141	141	141
	負担金	141	141	141
	その他			
	合計(A+B)	861	861	861
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
一般財源	861	861	861	
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
発行部数(点字版)	部	1	1	1			
発行部数(録音版)	部	36	40	40			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
発行率	視覚障害者の方の数を分母とし、発行部数を分子とする。	%	9 目標 (12)	10	12
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

<ul style="list-style-type: none"> 旧上野市から伊賀市社会事業協会へ委託を行ってきた経緯がある。 必要な方に対して行き渡るよう周知啓発を行っている。

評価	必要性	4	視覚障がいのある方に対して、市の行う各種事業や行事予定その他の情報を提供することは必要である。	総合評価
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		
				A